

◆本畑生育の第一関門は「活着」、第二関門は「根の円滑な養分吸収」であり、移植後本畑を見回り早く気づき処置する！！

技術情報:2参照

1. 生育不良株、腰折れ病等の病害株がないかを確認する ⇒ ほ地の見回り

☆ほ地の見回りを実施し、生育不良株、病害株の対策を徹底する

★生育不良株への対策

植穴に水か加燐硝酸液を 1株当たり200ml程度 かん注する  
(10a当たり400ℓ程度)

加燐硝酸液 …… 加燐硝酸1kgを水100ℓに溶かした液

2. 排水状況の点検確認

☆降雨後のほ地の見回りを実施し、排水対策を徹底する

- ・ほ地内に水溜まりはないか、特に枕地付近
- ・ほ地外への排水は万全か
- ・ゲリラ豪雨に対応できる排水溝か

排水対策は病害予防の基本です

- ★ 枕地を畦溝より低くすると効果的
- ★ ほ地の形状に合わせて設置する



排水溝の完備



株元までしっかりと土寄せ

3. 根作りを主体とした土寄せの実施

・移植30日~40日経過して作柄に応じて行う

・機械による土寄せ後確認して、しっかり株元まで寄るよう手直しが必要

★植穴の固結や畦内土壌の固いほ地の対応

・根の伸長促進のために、土壌をほぐしながら穴埋めすることが大切  
穴埋め器具の検討も必要

4. 本畑初期での損害防止 …… 慌てず、騒がず、速やかに連絡を

★霜害 ・被害程度の確認にとどめる …… タバコは自ら回復する力が強い

★風害 ・4月20日前後には強風が発生 …… 作柄に応じた管理作業

5. タバコ黄斑えそ病(PVY)対策について

☆今後アブラムシの飛来が心配されますので、ジャガイモ隣接ほ地は飛来予防対策が重要です。

★モモアカアブラムシの飛来温度

午前9時の温度が12℃以上で飛来を始め、20℃以上で最も多くなる

【薬剤による害虫対策】

■虫害防除計画 …… ジャガイモ農家と地域での一斉防除が効果的

使用月	薬剤名	ポイント
4月上旬	アドマイヤー水和剤(アブラムシ)	・飛来初期であり時期が遅くならないように
4月中旬	トレボン乳剤(タバコアオムシ)	・周辺雑草も防除
4月下旬	オルトラン水和剤(アブラムシ)	・周辺雑草も防除
5月上旬	テルスター水和剤(温室コナジラミ)	・周辺雑草も防除

※農薬使用上の注意点 …… 使用基準の確認(使用回数、使用間隔等)

問題に気付いたら速やかに耕作組合に連絡！  
⇒ ほ地ごとに現場で対策を検討

目標収量250kg確保には、特効薬も近道ありません。管理作業の一つ一つを確実に実行し、標準作柄形成が基本です。